

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告>

第77号

2008年3月15日

一月刊



古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

屋上緑化の推進！



旭区庁舎2階ルーフバルコニーの屋上緑化

もう春ですね。皆様お元気でお過ごしのことと思います。

さて、横浜市会は予算委員会の真つ最中で、私も交通局と環境創造局の質問に立たせていただきました。今回は、その中から「屋上と壁面の緑化」についての特集です。横浜市は都市の貴重な緑を守り、150万本を植樹する施策などに力を入れていますが、開発が進む都市部で緑を増やすことは難しい状況です。私は初当選時から屋上緑化について関心があり、当時の高秀市長にも民間施設に屋上緑化を推進するのであれば、まず公共施設から実施すべきであると主張してきました。今回の質問で環境創造局長に答弁いただきましたが、現在の公共施設の屋上緑化は44箇所、旭区役所も3年前に芝生等で屋上を緑化しました。また壁面緑化は保育園や学校など53施設でアサ

ガオやゴーヤーなどによる緑化に取り組んでいます（美しい緑のカーテンです）。

屋上緑化や壁面緑化は費用がかかることや建物の維持管理のため、民間では思うように進みませんが、相鉄線の和田町駅舎のように、横浜市の助成制度を利用した所も徐々に増えてきました。厳しい財政状況のため、各事業は減額が当たり前ですが、屋上緑化予算はささやかながら増額されていきますので、市の意気込みが感じられます。しかし、私は緑化を推進するためには、民間施設への助成も個別の小額の助成だけではなく、みなとみらい21地区から見える風車（ハマウイング）のような発想で、シンボリックな建物を壁面緑化して、多くの人々が建物の緑化や環境の大切さに気づき、意識啓発につながる施策が必要だと思っています。20年度は金沢区庁舎で壁面緑化を集中的に実施する、と副市長から答弁いただきましたが、すべての区庁舎で実施すべきだと思っています。さらに、現在検討している新市庁舎が、甲子園球場のように緑の葉に囲まれていたら素晴らしいですね。

今後、温暖化防止や都市のヒートアイランド現象を考えると屋上緑化や壁面緑化は効果的な施策であると思います。自然環境を壊して住まわせていただいている私たちに出来るせめてもの償いは、屋上緑化や壁面緑化のように緑を増やすことだと思えます。お庭に花を植えたり、室内の観葉植物を育てるなど、身近なところから緑を増やしませんか。癒し効果もありますよ。皆様のご意見をお待ちしております。

横浜市議員 古川 直季

平成20年度予算第二特別委員会局別審査(環境創造局関係)での

相鉄線和田町駅外壁の緑化パネル

古川なおきの質問【3月6日】

4 屋上及び壁面緑化への助成について

(1) 屋上及び壁面緑化への助成制度への内容はどのようなものか。

屋上や壁面緑化の植栽基盤や樹木購入費、灌水設備などにかかる経費の1/2を助成。1件あたりの限度額は50万円。主な条件は、緑化面積が5㎡以上であること、土地の高度利用を前提とする用途地域の中にあること、対象建築物が建築確認申請済み、または検査済みとなっていること。

(2) これまでの助成実績はどのようなか。

16年度は4件で105㎡、17年度は2件・45㎡、18年度は2件・56㎡、19年度は20年2月末現在で11件・570㎡。

(3) 19年度に助成実績が伸びた理由をどのように考えているのか。

19年度に、市民や事業者の方が利用しやすくなるよう、面積基準を10㎡から5㎡に引き下げ、適用地域を拡大し、全面芝だけの緑化も可能となるよう植栽の基準を見直し、助成対象を拡大したことが主な理由。また、地球温暖化やヒートアイランド現象などが大きく報道で取り上げられるなど、事業者や市民の環境への関心が高まったことも寄与していると思う。

(4) 屋上や壁面緑化のモデル事例となるよう、今後事業費を集中的に投入するような考えはないのか。(副市長答弁)

温暖化対策を市民に広めるには、取組の成果を見える形にしていくことが重要。20年度は金沢区庁舎で、壁面緑化や敷地内緑化などを集中的に実施。また、みなとみら21地区で、環境省の民間事業者への補助事業である「クールシティー中枢街区パイロット事業」が採択されているので、民間施設での緑化の取組が進む。より多くのモデル事例を実施することで、市民、事業者にとり取組の意義や効果を広く認識してもらって取組を進める。



予算第二特別委員会局別審査(交通局関係)での古川なおきの質問【2月27日】

- 1 改善型公営企業の経営の課題と予算の考え方について
- 2 バス事業の収支について
- 3 バス事業におけるサービス向上について
- 4 高速鉄道事業の収支状況について

<その他の質問>

- 1 環境活動における地域での連携について
- 2 事業者の温暖化対策について
- 3 風力発電事業について
- 5 市民協働による間伐材活用促進事業について
- 6 上郷開発事業について
- 7 農作物の収穫体験ができる公園の整備について
- 8 公園遊具事故への対応と維持管理について

横浜市HPの横浜市インターネット中継(録画)から実際の質問の様子がご覧頂けます。

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 39才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成19年4月4期目当選
 平成19年道路・安全管理委員会副委員長
 同 青少年市民スポーツ特別委員会
 自民党横浜市支部連合会女性局長
 日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問

希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 旭区卓球協会顧問
 旭区食品衛生協会顧問
 神奈川・横浜ディスプレイ協同組合顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エイト・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属
 横浜青年会議所(JC)

区庁舎駐車場等のあり方について皆さまのご意見を募集します

横浜市は6日までに、区役所の駐車場を有料化する方針を固めた。市民活力推進局によると、区役所への来庁手段は徒歩、電車、バス、車などさまざまなことから「公平性の観点で受益者負担の適正化を図る」としている。ただし、区役所利用者で30分から1時間程度の短時間の場合や障害者らは無料とする意向。7日からパブリックコメント(市民意見)を募集し、結果を踏まえ2008年度中に条例案を市会に提出、2009年度の実施を目指している。

利用料金は各区役所の立地条件や民間駐車場とのバランスを考慮し、1時間200～500円程度を想定。駐車時間が長くなるほど料金が高くなる運用も視野に入れている。

市は公平性のほか、目的外利用を防ぐ効果も期待している。市内18区役所の駐車場収容台数は、7台(中区)から185台(都筑区)までさまざまだが、同局によると、一部で無用な長時間駐車や区役所業務とかわりのない買い物などの目的外利用もあり、本来の来庁者が駐車できないケースも起きているという。

近隣自治体では、藤沢市が市役所駐車場を有料化している。最初の1時間が350円で、その後30分ごとに170円加算されるが、市役所利用者は3時間まで無料にする仕組み。横須賀市などは開庁日、市役所の利用者を無料にしている。川崎市の区役所も原則無料。同市は有料化を検討しているという。

パブリックコメントの募集は4月8日まで。問い合わせは、市民活力推進局地域施設課電話045(671)2086【神奈川新聞2008年3月6日朝刊より】

有料化をする場合には以下のことに配慮しながら進めていきます(横浜市HPより)

- 区役所・市役所利用者に一定の無料時間を設けます
 - ・区役所・市役所利用者は、30分から1時間程度の短時間利用の場合は無料で利用できるように考えています。
 - ・障害がある方など特に配慮が必要な方については、これまでどおり無料で利用できるように考えています。
- 利用料金は、各区役所・市役所駐車場の立地条件に応じて柔軟に設定します
 - ・利用料金については、民間駐車場の料金とのバランスを考慮し、各駐車場の立地条件に応じた料金設定にすることを考えています。
 - ・開庁時は、長時間駐車を抑制するため、駐車時間が長くなるほど駐車料金が高くなる運用も考えています。
- 開庁時以外にも平日夜間や土日休日に利用できるようにします
 - ・駐車場の有効活用の観点から、開庁時以外にも平日夜間や土日休日に利用できるように、利用時間を拡大することを考えています。
- 本市の温暖化対策や都市交通施策と連携を図ります
 - ・横浜市脱温暖化行動方針や横浜都市交通計画等と連携を図りながら、公共交通機関の利用促進のPR活動等を引き続き積極的に行います。